



平成 27 年 11 月 9 日

各 位

会社名 株式会社コンテック  
代表者名 代表取締役社長 藤木 勝敏  
(コード番号 6639 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役専務執行役員 藤井 貢  
電話番号 06-6472-7130 (代表)

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異  
及び通期業績予想の修正並びに中期経営計画の見直しに関するお知らせ

平成 27 年 5 月 13 日に公表しました平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績に下記のとおり差異が生じたのでお知らせします。また、通期連結業績予想の修正と中期経営計画の見直しを実施いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想値と実績値の差異

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,500	300	300	150	22.73
実績値 (B)	11,851	105	88	239	36.35
増減額 (B-A)	351	△194	△211	89	—
増減率 (%)	3.1	△64.9	△70.6	59.9	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期 第 2 四半期)	10,991	337	343	555	84.16

(注) 当社は、平成 27 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。  
前期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

(差異の理由)

第 2 四半期累計期間につきましては、電子機器製品の販売が国内で伸び悩みましたが、米国市場で産業用コンピュータの販売が堅調であったことに加え、EMS 製品（物流システム用制御機器の受託生産）の販売が好調であったため、売上高については計画を上回りました。

しかしながら、営業利益、経常利益に関しましては、電子機器製品と EMS 製品の売上構成が計画と異なったことと、今後の事業拡大に向けた新製品開発を積極的に進めていることで研究開発費が増加し、当初の予想を下回る結果となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却益を計上したことにより当初の予想を上回りました。

## 2. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想値の修正

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,000	1,000	1,000	750	113.64
今回修正予想 (B)	23,500	650	650	550	83.34
増減額 (B-A)	△500	△350	△350	△200	—
増減率 (%)	△2.1	△35.0	△35.0	△26.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	22,519	745	774	845	128.07

(注) 当社は、平成 27 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。  
前期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算定しております。

### (修正の理由)

第 3 四半期以降、電子機器製品の販売増が見込まれるものの、逆に EMS 製品は減少が予測されるため、売上高は当初の予想を若干下回る見込みであります。

利益に関しましては、電子機器製品の増加により大きく改善いたしますが、当初の予想は下回る見込みであります。

## 3. 中期経営計画 (平成 26 年 3 月期～平成 29 年 3 月期) の見直し

当社では、中期経営計画として平成 29 年 3 月期に売上高 260 億円、営業利益率 6 % 以上を掲げてまいりました。

現在、米国における産業用コンピュータの販売は好調に推移しておりますが、国内の太陽光発電計測システムを含むソリューション製品の販売が伸び悩んでいることに加え、EMS 製品については株式会社ダイフクでの内製化がより進行する見通しであることから、以下のとおり中期経営計画 (最終年度) の見直しを実施いたします。

### 中期経営計画の進捗状況と見直し

(単位: 百万円)

	平成 26 年 3 月期 実績	平成 27 年 3 月期 実績	平成 28 年 3 月期 修正計画 (今回)	平成 29 年 3 月期 修正計画 (今回)
電子機器製品	14,098	15,109	16,500	19,500
EMS 製品	7,844	7,410	7,000	4,500
売上高	21,942	22,519	23,500	24,000
営業利益	538	745	650	800

当社では、現在、急速な市場拡大が見込まれる IoT 市場向けに、付加価値の高い製品・システムとして「CONPROSYS」の開発を強力的に推進し、早期の市場投入を計画しております。

今後、この製品を当社の主力製品のの一つに位置付けて取り組んでまいります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上